

様式 8

「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「馬入水辺の楽校及び地域の自然環境の保全と 環境教育の推進」

助成番号：21-6111-001

NPO法人 暮らし・つながる森里川海
代表 臼井 勝之

2021 年度

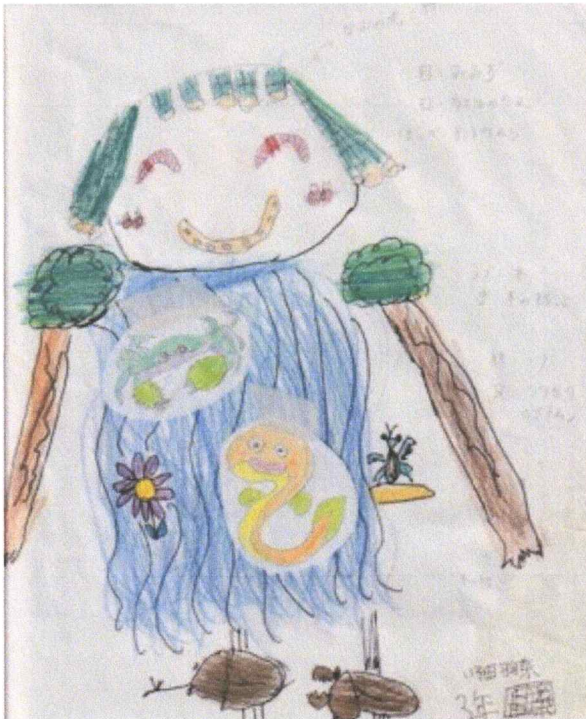
1. 事業概要



湘南いきものの楽校

2021 年度活動報告書

子どもが元気、いきものの元気、地域が元気



NPO 法人 暮らし・つながる森里川海

2021 年度成果報告

「子どもが元気、生きものの元気、地域が元気」を合言葉に、「地域の自然環境の保護・保全活動」「馬入水辺の楽校の活動強化」、それを担う当法人の「運営体制の強化」を3本柱に、多様な活動を展開しました。新型コロナウイルス対策として、マスク着用、三密回避、検温の実施、家族単位での行動などを徹底しました。平塚新港お魚調べと山梨県の子どもたちとの「上下流交流会」は新型コロナウイルスにより中止になりました。

結果として、催し回数80回、参加者2,784人（子供1,268、大人1,196、スタッフ320）と前年の1,978人を大きく上回りました。SDGs運動促進のイベント「湘南ピクニック・土手の下のSDGs」には1,000人を超える市民が集まり、子どもたちの遊び声が溢れる盛況な催しとなりました。ご支援いただいた関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

力を入れた馬入水辺の楽校のフィールドミュージアム化については、会員参加により、二つのトンボ池の修理やバタフライガーデンづくり、生きもの広場づくり、ブッシュ環境の改善（草刈り）、自然解説板・自然発見きっかけパネルのリニューアルなど、大きな成果を収めることができました。

運営基盤の強化を図るため、ワークショップ「ミズベリング in 馬入水辺の楽校」を開催し、「湘南ピクニック・土手の下のSDGs」として開花しました。

広報活動を拡充強化するため、広報誌「湘南いきもの楽校だより」の魅力度アップ、「馬入水辺の楽校ガイドパンフ」の発行、HPの拡充強化に取り組みました。平塚市広報や平塚市地域情報局、タウン市紙等へ情報発信を努めました。

最大の成果はとても良い人間関係が醸成されつつあることで、何よりの喜びであります。新年度は、「ゆっくり生きよう」「暮らしを楽しむ」をテーマに、会員主導型のワークショップ「湘南スロー」を新たに展開して行きます。子どもたちに豊かな未来を残すために、多くの皆様のご支援、ご参加をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022 年 4 月 1 日

NPO 法人暮らし・つながる森里川海
理事長：白井 勝之



2021 年度活動概要

1. 地域の自然環境の保護・保全活動



● フィールドミュージアムづくり

いきものがかり隊を組織し、フィールドミュージアム（自然生態園）づくりに取り組みました。市民が利用しやすいようにと、クズやノイバラ、セイタカアワダチソウなどを除草しました。生き物いっぱいの楽校にするため、生きもの広場やバタフライガーデン、エコスタック、トトロの迷路、トンボ池づくりに取り組んだ他、道標や自然解説版を設置しました。（写真①：トンボ池づくり）



● ウナギの棲む川づくり運動

協働している「桂川・相模川流域協議会」が対岸の茅ヶ崎市に石倉カゴを1基設置しました。調査結果を見ると、ウナギを始めとする多様な生物が棲みついでおり、その有効性が実証されました。護岸工事の根固め等への利用を推進していきます。

（写真②：石倉カゴ調査）

● 相模川クリーンキャンペーン

当法人も加盟している「桂川・相模川流域協議会」のクリーンキャンペーンに参加し、相模川河口の清掃活動に取り組みました。

2. 環境学習活動の拡充強化



● 自然探偵団「カマキリ調べ」

より深く、馬入水辺の楽校の自然と触れ合おうと6回開催しました。成虫や卵の調査、観察記録づくりなど、学習的な要素を取り入れました。2021 年度活動報告書の中で成果をまとめます。

（写真③：カマキリと遊ぶ）



● ヤギ島探検ツアー

暮らしの近くの自然体験として、継続実施しています。106名の参加者で賑わいました。ライフジャケットの使い方を学ぶと共に、魚採りを楽しみました。川遊び未体験の子どもがほとんどで、川面に歓声がこだましました。（写真④）



● ナイトウオーク

夜の楽校は驚きと不思議がいっぱいです。ライトトラップやバットデテクター（コウモリの鳴き声を聞く）などを楽しみました。

（写真⑤：ライトトラップ）



● ビオトープ講座

トンボ池づくりなど、ビオトープの基礎を学びました。ノコギリやスコップを使ったり、ロープワークを学んだりなど、ちびっ子元気の催しになりました。（写真⑥：防草シート張り）



●ブッシュクラフト講座（隠れ家づくりなど）

テントやポールなどのフィールドギアを使わずに、自然のなかにあるものを活用して、アウトドアを楽しむ野外技術を学びました。ハーブティーや楽校に生えているカラシナのとう立ち菜を茹でて食べました。水辺の楽校で野菜を食べられるなんて、と大好評でした。（写真⑦）



●カヌー・ガサガサ魚採り

桂川・相模川流域協議会との協働による「上下流交流会」を神川橋の下流で開催しました。ちびっ子元気な川遊びとなりました。（写真⑧）



●ビーチコーミング

森と海はつながるをコンセプトに平塚海岸でビーチコーミングを4回、学習会を2回開催しました。漂流物や生きものを通して、海や陸の自然を知ることができます。毎回が発見の連続。楽しいと大好評です。（写真⑨）



●相模湾ネイチャーウォッチングクルーズ

平塚沖の観測タワーや烏帽子岩を間近で見ると、故郷の海の自然を満喫しました。平塚市漁業協同組合、庄治郎丸さんのご協力により実現しました。（写真⑩）



●消費者参加型農業「みんなの畑」

農業の新しいカタチ、消費者参加型農業に取り組んでいます。肥料や種子、農作業の道具がなくても農業が楽しめます。収穫された野菜も味わえます。芋掘りと火起こし体験（焼き芋）は大好評でした。（写真⑪）



●昆虫標本づくり教室

標本づくりは大人気。生きものの不思議がとてもよくわかります。（写真⑫）



●街角みちくさ散歩

コンクリートの隙間などに力強く生えている植物たちに元気をもらおうと実施しました。第一回は海浜植物観察を楽しみました。（写真⑬）



●木育活動

木のおもちゃと触れ合う木育活動は新型コロナウイルスにより実施できませんでした。けん玉教室を3回実施しました。

3. 運営体制の強化

●ワークショップミズベリング in 馬入水辺の楽校の開催

NPO フュージョン長池のコーディネートで開催。11月13日開催の「湘南ピクニック土手の下のSDG」として、開花しました、来場者1,000人超。30名余の会員ボランティアや市内のNPOが力を貸してくれました。

●「ワークショップ湘南スロー」

「ゆっくり生きる」「暮らしを楽しむ」をコンセプトに、会員主導で実施します。年度末にキックオフしました。何を楽しむのかは、4月以降、みんなで考えます。草木染めや椿油を絞る、などの提案が出ています。

●会員交流会の開催

会員との交流を図ろうと4回開催しました。中で、湘南ピクニックで飾る「張子の守り神」をみんなで作りました。「おかんばやし：音遊び」などを楽しみました。

●協働活動

桂川・相模川流域協議会、NPO フュージョン長池、平塚着地型観光推進協議会、地域ボランティア「ゆとりすと」、平塚市、国土交通省

●新たな担い手

運営に携わってくれる新たな担い手が生まれました。

●広報活動の強化

- (1) 自然解説板、自然発見きっかけパネルの更新
- (2) 水辺の楽校ガイドパンフの作成
- (3) HPのリニューアル
- (4) 広報誌の拡充強化
- (5) 平塚市広報、タウン誌、平塚市地域情報局等への情報提供

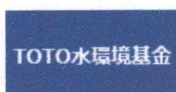
●研修

スタッフの安全管理として、チェーンソー講習会受講しました。(1名)

●助成金

下記の団体から助成をいただきました。厚く御礼いたします。

公益財団法人河川財団



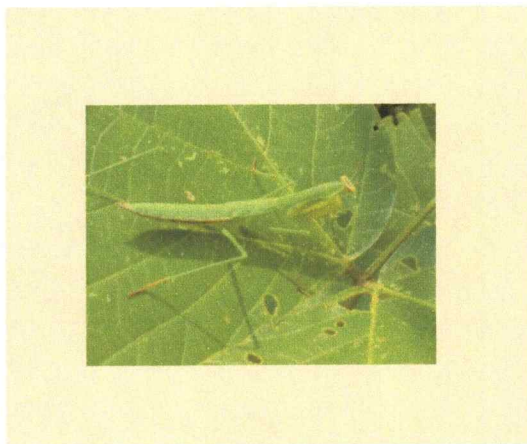
・平塚市市民活動推進補助金

・公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団

フィールドミュージアム 馬入水辺の楽校

川の自然と触れ合える場づくり

環境学習活動の拠点づくり



草ぼうぼうの原っぱで・・・

なんだ、何もないやと思うかもしれないけれど、一歩踏み込むとチョウやバッタが飛び出してくる。

公園と違って、デコボコしていたり、川や池があったりで、危ないところもあるけれど・・・

子どもたちにとって、
楽しいと思えることがいっぱい詰まっている。

さあ、自然のワンダーランド、馬入水辺の楽校の扉を開けてみよう

川と友だちになる

相模川の河口付近を馬入川と呼ぶ。

暮らしの近くに川があった頃、
水は清く澄み、人々は泳いだり、魚を捕ったりして、川遊びを楽しんだ。

ザクッと掘ると食べきれないほどのシジミが採れた。

ウナギやハゼやモクズガニ、暮らしの近くに豊穡の海が広がっていた。

干潟にはシギやチドリの声が響き、空にはコアジサシが舞い、秋には赤トンボで埋まった。

子どもたちは帰りの時間も気にせずに、群れて一日遊びほうけた。誰にとがめられることもなく、辺りが薄くなる頃、コウモリに下駄を投げながら、家路についた。

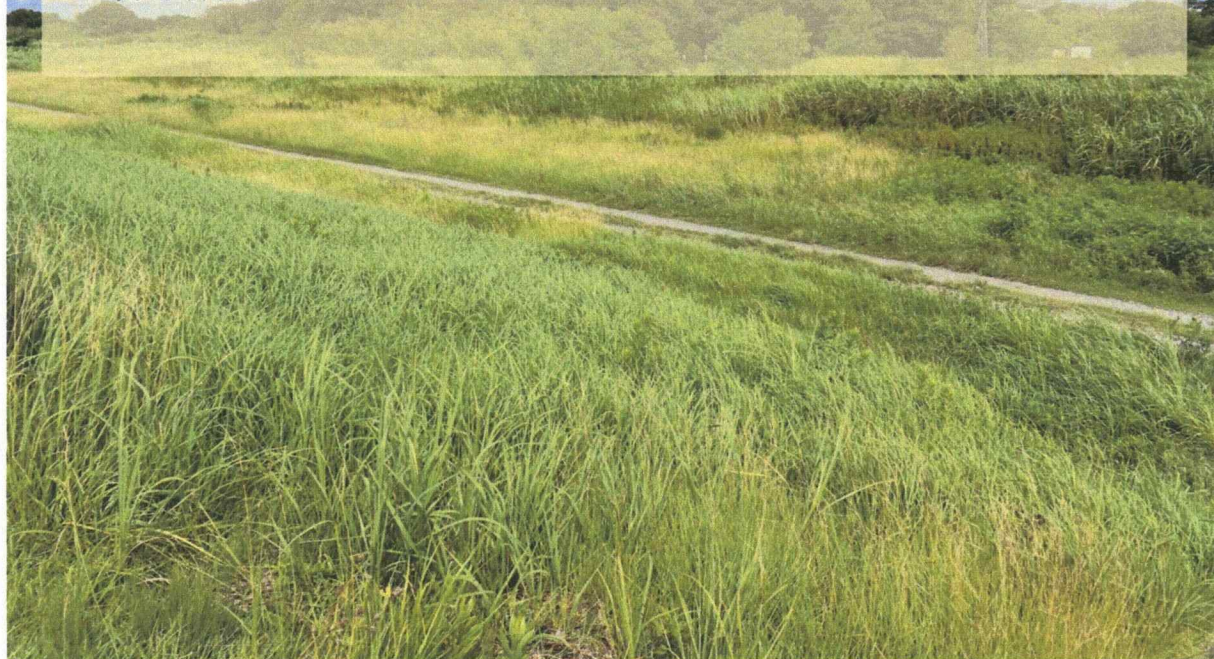
そんな時代のいい川を、自然遊びを、子どもたちに体験させたい。

そう思って、生きものと共存したまちづくり、子どもたちを野にもどす取り組みにチャレンジしている。



■フィールドミュージアムづくり

「馬入水辺の楽校」の利活用促進を図るため、フィールドミュージアム化を進めています。
生きものがかり隊を組織し、市民参加で取り組んでいます。
環境学習活動の一環として、子供たちも大勢参加しています。



●ブッシュ的環境の改善

クズやノイバラが生い茂り、利用しにくい環境になっています。定期的に草刈りを実施しました。



●バタフライガーデンづくり

人が見ても美しく、蝶の集まる庭づくりに取り組んでいます。



●竹林を整備し、トトロの迷路を作りました

子供たちは竹を切ったり、運んだりする作業が大好きです。迷路のルートは子供たちの感性を優先させます。



●二つのトンボ池整備

ビトープは作って終わりではありません。継続管理が必要です。



●案内標識整備 (子供たちと一緒に作製)



●案内パネル (更新)



●自然解説パネルの更新 (河川基金活用)



●自然発見きっかけパネル (更新)



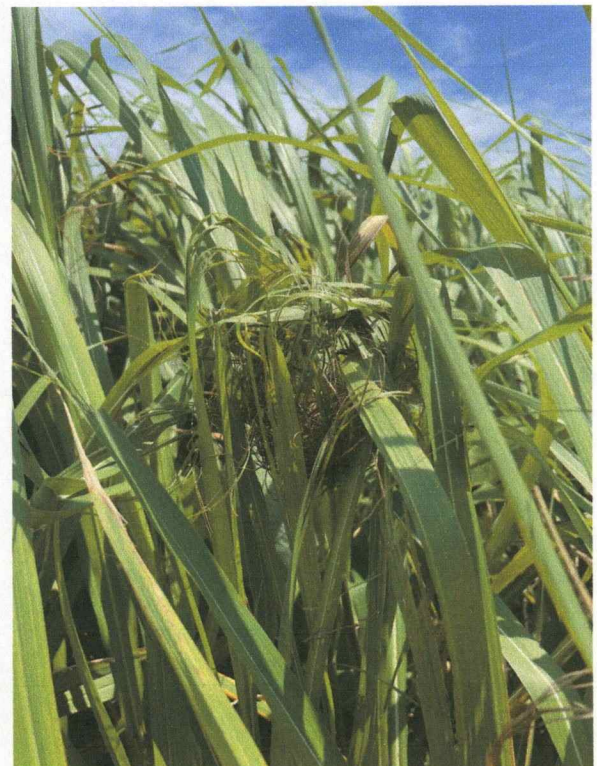
●生きものの広場づくり (エコスタックづくり)

朽木を積んだり、ワラジボードを設置したり、コモを巻いたり、生き物の住処づくりに力を入れました。



●カヤネズミ調査と生息地の保全

草刈りの成果でオギ原が元気になり、カヤネズミが戻ってきました。





ウナギの棲む川づくり運動 展開中！

相模川の石倉カゴと石倉カゴ以外におけるウナギ採集状況の比較 (2018-2021 年)

調査実施主体：桂川・相模川流域協議会・NPO 暮らし・つながる森里川海
石倉カゴ (2ヶ所：3個)

調査場所	調査年月日	ウナギ尾数	合計重量 (g)	その他生物
馬入水辺の森校前	2019 年 3 月 23 日	6	1,105	クロホシマシジウダイ、キチヌ
馬入水辺の森校前	2019 年 4 月 6 日	5	1,000	マハゼ、ボラ
馬入水辺の森校前	2019 年 5 月 21 日	12	1,217	ミナミメダカ、アユ
馬入水辺の森校前	2019 年 9 月 28 日	12	1,490	カワアナゴ、ゴクラクハゼ
馬入水辺の森校前	2020 年 8 月 1 日	6	462	テンダヨウジ、トガアシヒライソモドキ
馬入水辺の森校前	2021 年 3 月 28 日	14	671	ヒナハゼ、タイワンオオヒライソガニ
茅ヶ崎市萩園	2021 年 5 月 10 日	9	1,230	カワアナゴ、モクズガニ、ミナミテナガエビ
馬入水辺の森校前	2021 年 5 月 30 日	13	1,586	カワアナゴ、ヒナハゼ、ヌマチチブ、ミナミテナガエビ
茅ヶ崎市萩園	2021 年 6 月 9 日	7	1,088	カワアナゴ、クロベンケイガニ、ミナミテナガエビ
茅ヶ崎市萩園	2021 年 9 月 21 日	8	949	カワアナゴ、モクズガニ、ミナミテナガエビ
茅ヶ崎市萩園	2021 年 11 月 18 日	2	162	マハゼ、モクズガニ、ミナミテナガエビ
調査 1 回あたり平均		8.5	996.4	

●成果あり！石倉カゴ

絶滅危惧種ウナギの保護を図ろうと石倉カゴを 2 基設置しました。効果を測定するため、市民参加でモニタリングを実施しています。効果絶大、多くの生き物が住み着きました。河川での設置を働きかけています。子供たちにも人気のイベントです。

石倉カゴ以外 (ウナギ筒と延縄で採集)

調査場所	調査年月日	ウナギ尾数	合計重量 (g)	その他生物
上大島キャンプ場前 (東側)	2019 年 8 月 2-3 日	0	0	
上大島キャンプ場前 (西側)	2019 年 8 月 24-25 日	0	0	
高田橋上流	2019 年 6 月 25-26 日	0	0	ナマズ 5
県立相模三川公園前	2019 年 9 月 24-25 日	0	0	
酒井運動公園前	2018 年 6 月 6-7 日	2	148	
海老名運動公園前	2019 年 9 月 4-5 日	0	0	ナマズ 1、スッポン 1
戸沢橋下流	2019 年 10 月 10-11 日	0	0	ナマズ 1、コイ 2
目久尻川	2018 年 9 月 9-10 日	5	618	
馬入水辺の森校前	2018 年 5 月 13-15 日	2	412	
調査 1 回あたり平均		1.0	130.9	

調査 1 回あたりの採集状況比較

	ウナギ尾数	ウナギ重量 (g)
石倉	8.5	996.4
石倉以外	1.0	130.9

石倉カゴは 1 回あたり 8.5 匹のウナギが捕獲されました。それに対して、ウナギ筒と延縄は 1.0 匹。石倉カゴの有効性が立証されました。





●五感を育む

「知ることは感じることの半分も重要でない」レイチェルカーソンの名言です。自然の不思議さを感じる。そのことを意識し、プログラムを展開しています。

●味わう

春先、カラシナのとう立ち菜を食べてみました。「水辺の楽校に食べられる野菜があるなんて」とみんなびっくり。生で食べたり、茹でて食べたり、自然の味を満喫しました。あるお母さん、「普段は野菜を食べないのに」と驚いていました。そうそう、ハサミを使わずに手で折ることを教えました。ハサミを使うと硬い茎も簡単に切れてしまいます。手で折れる茎が美味しいのであります。



●匂いを嗅ぐ



ラベンダーやミントなどが生えています。そのまま嗅ぐ。ちぎって嗅ぐ、揉んで嗅ぐなど、香りの違いを楽しみます。

●虫眼鏡や顕微鏡を使う

異次元世界との出会いが待っています。



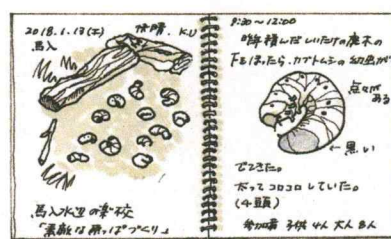
●スケッチする

スケッチするとよく観察するので、生きものの特徴が頭に入ります。



●フィールドノートをつける

記録を取ることの大切さ、面白さを伝えています。



川が呼んでいる！ 大人気ヤギ島探検ツアー

馬入川にあるでっかい中洲です。川が深くて普段は渡れませんが、大潮の干潮時には歩いて渡れます。ライフジャケットの訓練をしたり、魚採りを楽しんだり、毎年、多数の子供たちが参加します



●相模湾ネイチャーウォッチングクルーズ

遊漁船に乗り、故郷の海の自然と触れ合いました。子供たちは全員初体験。烏帽子岩や江ノ島を間近で眺めたり、釣り体験をしたり、面白いことがてんこ盛り。あっという間の4時間でした。



●石倉カゴ調査（お魚調べ）

大人も子供も夢中！ウナギやモクズガニ、テナガエビなど、バケツの中はお魚たちで溢れます。講師の先生からお魚のことを教えてもらい、種類を調べたら川に戻します。



●ビーチコーミング

平塚海岸の宝物探しを楽しんでいます。海や川の生きもの、海上を渡る野鳥など、多くの生きものたちとの出会いが待っています。



●ブッシュクラフト講座

テントなどの特別な道具がなくても、野外で暮らせる技術を学びました。タープを使ったテントの設営では、ロープワークやノコギリの使い方など、初めてのことばかり。何度も繰り返し、体得しました。新しい環境学習のプログラムとして拡充強化していきます。



千客万来！ 湘南ピクニック土手の下のSDGs



●ワークショップで企画立案

ワークショップ「ミズベリング in 馬入水辺の楽校」を開催し、企画立案しました。コーディネーターはNPO フュージョン長池の若きリーダーの皆さん。昼は野遊びとSDGsの推進。夜は竹灯籠や紙コップキャンドルのともしびの夕べを楽しみました。1,000人を超える市民で賑わいました。

●水辺の楽校の守り神

子供たちと一緒に守り神を作りました。デザインは子供たち。和気あいあいの楽しい作業になりました。



●楽しいぞ！原っぱ

地域のNPOや地元小学校の参画で開催されました。たくさんの子供たちが遊びにきてくれました。何よりの成果であります。

(音遊び)



(キャンドルナイト)





市民による市民のための楽校づくり

●仲良きことは美しきかな

催しの拡充強化に伴い、リピーター参加者が増えています。顔馴染みになるにつけ、会話が弾み、とてもよい人間関係が醸成されつつあります。

「湘南ピクニック土手の下の SDGs」には 30 名を超える会員が応援に駆けつけてくれました。紙コップキャンドルの設置や点灯（写真）などに力を振るってくれました。キャンドル設置は子供たちが大活躍、広い会場を駆けずり回って設置してくれました。ちびっ子エネルギーに乾杯！



●会員交流会

会員交流会を 4 回開催し、意見交換しました。

いろんなご意見やご提案をいただきました。子供たちは音遊びやドリームキャッチャーづくりを楽しみました。新年度は草木染展示会やクリスマスパーティーを楽しみたいとの声が上がっています。



●ワークショップ湘南スロー

会員交流会の中から新たな取り組みが生まれました。テーマは「ゆっくり生きる」「暮らしの質を高める」。従来の催しと異なり、会員が企画立案し、進めていきます。第一歩は草木染から。市民による楽校づくりが一步前進しました。



*交流会ではドリームキャッチャーづくりなどを楽しみました

●消費者参加型農業「みんなの畑」

湘南スローの取り組みの一環です。参加者は種子や肥料などの生産資材を用意する必要はありません。条件はただ一つ。自ら作った安全・安全な野菜を購入していただくだけです。食農教育はとても大切な環境学習活動です。小さな畑が宇宙までつながります。秋に芋掘りと火起こし体験(焼き芋)を楽しみました。参加者のちびっ子、「今日は最高の日だったと」大満足だったようです。



●湘南スローの草木染用として藍を播種しました



後継者の育成に力を注ぎます！

●開講！「パークレンジャー養成講座」

二つのワークショップに加え、2022年度より、「パークレンジャー養成講座」を開講します。ビオトープ講座や公園管理講座などを予定しています。

参加条件は会員加入。講座終了後に生きものがかり隊に参加してもらい、フィールドミュージアムづくりに力を発揮していただきます。どうしたら人が集まるか、どんなプログラムを実施していくのか等、わからないことばかりですが、失敗を恐れずに、果敢にチャレンジしていきます。

相模川いい川づくり

当法人として、相模川・中津川河川整備計画策定に参画しました。基本計画に対応した細目の実施について2022年度から「触れ合い懇談会」を再開し、市民の意見を反映して行くこととなりました。

いい川づくりで最も大切なことは、開いてしまった、人と川との距離を縮めること。市民が自分ごととして捉えてもらえるような施策の実施が必要です。

既に色々な取り組みが実施されていますが、市民、企業、行政が一体化した中で、協働の力が発揮できればと思っています。馬入水辺の楽校のフィールドミュージアム化を進めることが、いい川づくりにつながると考えています。

2022年4月1日

NPO 法人暮らし・つながる森里川海
理事長 白井 勝之

2021 年度活動実績							
NO	開催日		活 動 内 容	子供	大人	指導者	合計
1	4 月 3 日	生きものがかり隊	トンボ池づくり	6	7	2	15
2	4 月 10 日	自然探偵団	水辺の楽校 ガイダンス	19	16	5	40
3	4 月 18 日	生きものがかり隊	バタフライガーデンづくり	10	9	5	24
4	4 月 21 日	生きものがかり隊	草刈り			4	4
5	4 月 25 日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館				
6	5 月 1 日	お散歩バードウォッチング	野鳥観察会	13	11	1	25
7	5 月 2 日	街角みちくさ散歩	平塚海岸 植物観察	3	4	4	11
8	5 月 3 日	みんなの畑	消費者参加型農業	11	6	3	20
9	5 月 8 日	ビーチコーミング勉強会	ビーチコーミング入門講座	12	12	3	27
10	5 月 9 日	相模川クリーンキャンペーン	相模川河口ゴミ清掃	10	35		45
11	5 月 9 日	ビーチコーミングミニ勉強会	ビーチコーミング入門講座	2	3	3	8
12	5 月 15 日	生きものがかり隊	トンボ池修理	9	10	2	21
13	5 月 16 日	生きものがかり隊	バタフライガーデンづくり	11	14	10	35
14	5 月 16 日	会員交流会	人形劇とクラフト、意見交換	7	5	10	22
15	5 月 19 日	生きものがかり隊	草刈り			3	3
16	5 月 22 日	ビーチコーミング	平塚海岸 漂流物観察	14	13	4	31
17	5 月 23 日	相模湾クルーズ	海の自然と触れ合う	19	14	4	37
18	5 月 29 日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館				
19	5 月 29 日	けん玉教室	相模リバーセンター（午後）	3	1	2	6
20	5 月 30 日	お魚調べ	石倉カゴ調査（ウナギなど）	46	42	5	93
21	6 月 5 日	みんなの畑	消費者参加型農業	11	9	3	23
22	6 月 12 日	ヤギ島探検ツアー	川の自然と触れ合う	51	43	12	106
23	6 月 16 日	生きものがかり隊	草刈り			3	3
24	6 月 20 日	生きものがかり隊	トンボ池整備・生きものの調べ	26	23	5	54
25	6 月 26 日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館				
26	6 月 26 日	けん玉教室	相模リバーセンター	1	2	2	5
27	7 月 4 日	昆虫標本作り教室	昆虫標本作り教室	7	10	3	20
28	7 月 10 日	自然探偵団	カマキリ調べ	31	31	6	68
29	7 月 17 日	ビーチコーミング	平塚海岸 漂流物観察	5	10	3	18
30	7 月 21 日	生きものがかり隊	草刈り			3	3
31	7 月 22 日	自然探偵団	カマキリ調べ	13	12	3	28
32	7 月 24 日	カヌー&ガサガサ魚採り	カヌーで川遊び、魚採り	45	47	20	112
33	7 月 25 日	みんなの畑	消費者参加型農業	4	4	3	11
34	7 月 31 日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館				
35	7 月 31 日	けん玉教室	相模リバーセンター	2	1	2	5

36	8月1日	みんなの畑	消費者参加型農業	4	4	3	11
37	8月8日	昆虫標本作り教室	昆虫標本作り教室	6	3	3	12
38	8月28日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館				
39	8月29日	ナイトウォーク	馬入水辺の楽校 夜の観察会	17	19	5	41
40	9月12日	自然探偵団	カマキリ調べ	9	10	3	22
41	9月15日	生きものがかり隊	バタフライガーデン整備			3	3
42	9月26日	張り子の守り神作り		7	6	3	16
43	10月2日	みんなの畑	芋掘りと火起し体験	13	15	3	31
44	10月3日	生きものがかり隊	バタフライガーデン作り	10	9	2	21
45	10月9日	自然探偵団	カマキリ調べ（まとめ）	8	5	3	16
46	10月13日	生きものがかり隊	バタフライガーデン作り	1		2	3
47	10月20日	生きものがかり隊	草刈り			2	2
48	10月22日	崇善小学校観察会	観察会講師	100	5	2	107
49	10月24日	生きものがかり隊	バタフライガーデン作り	3	5	3	11
50	10月30日	張り子の守り神作り	湘南ピクニック準備	10	9	5	24
51	11月3日	みんなの畑	里芋掘り体験	11	13	3	27
52	11月6日	ビーチコーミング	平塚海岸漂流物観察	8	9	3	20
53	11月7日	自然探偵団	カマキリ調べ（まとめ）	9	10	3	22
54	11月10日	生きものがかり隊	草刈り			2	2
55	11月13日	イベント湘南ピクニック		500	500	40	1040
56	11月21日	生きものがかり隊	道案内看板作り	5	6	4	15
57	11月27日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館				
58	11月28日	自然探偵団	カマキリ調べ（まとめ）	13	15	3	31
59	12月4日	みんなの畑	玉ねぎ定植	3	4	3	10
60	12月5日	生きものがかり隊	生きもの広場づくり	22	23	3	48
61	12月11日	お散歩バードウォッチング	野鳥観察会	3	6	5	14
62	12月12日	生きものがかり隊	新トンボ池修理	12	11	4	27
63	12月15日	生きものがかり隊	フィールドミュージアム			2	2
64	12月25日	暮らしと自然の博物館	相模リバーセンター開館	中止			
65	12月25日	暮らしと自然の博物館	ワークショップ凧作り	3	5	5	13
66	12月26日	おもちゃ広場と会員交流会	水辺の楽校の意見交換	14	14	13	41
67	1月8日	ビーチコーミング	平塚海岸漂流物観察	3	4	3	10
68	1月9日	お散歩バードウォッチング	野鳥観察会	4	6	5	15
69	1月15日	ちびっ子 隠れ家づくり		17	15	5	37
70	1月19日	生きものがかり隊	フィールドミュージアム			3	3
71	1月29日	暮らしと自然の博物館	ワークショップ凧作り	中止			

72	2月5日	みんなの畑	足踏み温床づくり	3	1	3	7
73	2月6日	お散歩バードウォッチング	野鳥観察会	3	9	1	13
74	2月16日	生きものがかり隊	フィールドミュージアム			4	4
75	2月19日	アウトドアスキルアップ講座	トトロの迷路づくり	11	9	5	25
76	2月26日	岸壁採集	平塚新港お魚調べ	21	20	2	43
77	3月5日	みんなの畑	消費者参加型農業	1	2	3	6
78	3月6日	お魚調べ	ウナギ調査	15	14	3	32
79	3月12日	お散歩バードウォッチング	野鳥観察会	0	1	3	4
80	3月16日	生きものがかり隊	フィールドミュージアム			2	2
81	3月19日	アウトドアスキルアップ講座	ブッシュクラフト体験	4	5	3	12
82	3月26日	ワークショップミズベリング	アイデア出し	4	10	2	16
	合計			1268	1196	320	2784

3. 川づくり団体部門 [実施箇所位置図]

助成番号		助成事業名		所属・助成事業者氏名	
2021-6111-001		馬入水辺の楽校及び地域の自然環境の保全と環境教育の推進		NPO 法人暮らし・つながる森里川海 理事長 臼井 勝之	
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所		馬入水辺の楽校		
					
					
	河川基金ロゴ等表示状況写真				
遠景			近景		
延べ参加人数		一般	2,784 名	スタッフ・事務局	320 名
マスコミ等の反響		平塚市広報、タウン誌で紹介されました。			